

シンポジウム

渡良瀬遊水地エコミュージアム・プランの展望と課題

渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録から間もなく2年を迎えようとする中、遊水地の第2調節池では渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画に基づく掘削が着々と進行しています。今年度は、小山市域内で約8.6ヘクタールの掘削が行われ、掘削後小山市が占用許可を得て環境学習フィールドとして利用することも計画されています。湿地保全・再生基本計画には、渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会が作成したエコミュージアム・プランが反映されており、また、小山市は遊水地の賢明な活用の柱の一つとして遊水地のエコミュージアム化を掲げ、環境学習フィールドとしての利用もその一環として行われようとしています。

基本計画に基づく掘削による湿地再生には20年以上の期間を要すると言われていますが、理想的な湿地再生を行うためには、早い段階で、利根川上流河川事務所、第2調節池の地元2市1町、遊水地に関わる自然保護団体および市民の各主体がエコミュージアム・プランに関する認識を共有し、今後掘削が進む第2調節池の維持管理の具体的方策について十分な意見交換を重ね、協働して行くことが不可欠となります。その最初の機会として本シンポジウムを開催致します

日時:2014年5月31日(土)13:00~16:40(開場 12:30)

会場:小山市立文化センター小ホール/入場無料

小山市中央町1-1-1(小山駅西口から徒歩約10分 小山市役所隣)
TEL:0285-22-9552 市役所駐車場利用可

基調報告

- 関東地方環境事務所野生生物課課長 荒牧まりさ氏
「ラムサール条約と湿地再生」
利根川上流河川事務所所長 須見徹太郎氏
「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画について」
渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会世話人 嶋津暉之
「エコミュージアム・プランの誕生から現在まで」
わたらせ未来基金代表世話人 青木章彦
「第2調節池の現在の状況」
NPO 法人オリザネット代表 斉藤光明氏
「河川の自然再生事例報告」

パネルディスカッション

進行

- ラムサール湿地ネットわたらせ事務局長 浅野正富
ラムサール湿地ネットわたらせ幹事 水野敦子

パネリスト

- 基調報告者4名(荒牧氏、須見氏、嶋津、青木)
小山市長 大久保寿夫氏
野木町長 真瀬宏子氏

主催:ラムサール湿地ネットわたらせ

問合せ先(事務局):小山市神鳥谷1-6-19 浅野正富法律事務所内 (TEL 0285-25-6577)

後援(予定):環境省関東地方環境事務所、国土交通省利根川上流河川事務所、栃木県、小山市、栃木市、野木町、NPO 法人ラムサール・ネットワーク日本

協力:コウトリトキの舞う ふるさと おやまをめざす会、ふゆみずたんぼ実験田推進協議会、小山市渡良瀬遊水地治水推進・ラムサール賢明な活用・周辺整備推進期成同盟会